工要災害調査

第五十十

2021年2月福島県沖お

防災科学技術研究

2021年2月福島県沖および3月宮城県沖の 地震被害調査報告

Research Report on Damage Investigations Related to the 2021 February Fukushima Offshore Earthquake and the 2021 March Miyagi Offshore Earthquake



防災科学技術研究所主要災害調查

- 第52号 平成29年7月九州北部豪雨調查報告(平成30年9月発行)
 - 1) 平成29年7月九州北部豪雨に関する気象学的な速報解析1-7.
 - 2) 平成29年7月九州北部豪雨における土砂移動分布図の作成9-20.
 - 3) 平成29年7月九州北部豪雨に関する被害・対応状況の整理とタイムライン作成21-31.
 - 4) 平成29年7月九州北部豪雨に対する防災科研の災害対応の目的33-34.
 - 5) 防災科研クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)の構築と運用 平成29年7月九州北部豪雨を事例に- 35-46.
 - 6) 災害対応における防災科学技術研究所の情報支援体制の実態と課題 2017年7月九州北部豪雨の例 47-54.
 - 7) 福岡県庁内における情報支援活動 -平成29年7月九州北部豪雨における取り組みを事例に- 55-71.
 - 8) 大分県災害対策本部における情報支援活動 73-80.
 - 9) 被災自治体に対する遠隔支援への移行 81-86.
 - 10) 平成29年7月九州北部豪雨による斜面災害の現地調査報告87-102.
 - 11) 平成29年7月九州北部豪雨に伴う地盤災害被害について103-112.
 - 12) 平成29年7月九州北部豪雨における朝倉市災害ボランティアセンターの運営実態113-120.
 - 13) 平成29年7月九州北部豪雨に対する福祉施設の避難行動と防災意識の調査-朝倉市の福祉施設へのヒアリン グ調査の速報-121-133.
- 第53号 平成30年7月豪雨調查報告(令和2年3月発行)
 - 1) 平成30年7月豪雨における被害の概要1-32.
 - 2) 平成30年7月豪雨の際にみられたトラフの出現頻度に関する考察33-38.
 - 3) 平成30年7月豪雨時に発生した線状降水帯と大雨特別警報発表の時間的関係39-48.
 - 4) 平成30年7月豪雨における国土交通省XRAINによる積算雨量 49-58.
 - 5) 平成30年7月豪雨における降雨の再現期間と災害発生の関係59-66.
 - 6) 平成30年7月豪雨により愛媛県南西部で発生した斜面崩壊の規模と分布の特徴67-82.
 - 7) 平成30年7月豪雨による土砂災害発生の推定時刻における土壌雨量指数83-90.
 - 8) 平成30年7月豪雨における防災科研の情報支援体制91-95.
 - 9) 平成30年7月豪雨 広島県庁における情報支援活動 97-110.
 - 10) 岡山県庁災害対策本部における情報支援活動の実践と課題 -平成30年7月豪雨を対象として-111-122.
 - 11) 愛媛県災害対策本部における情報支援活動 123-131.
 - 12) 平成30年7月豪雨における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用133-146.
 - 13) 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)における複数都道府県に及ぶ断水・給水・入浴支援情報の地図化活動 147-154.
 - 14) 平成30年7月豪雨における岡山県倉敷市の消防機関の初動対応および真備町の浸水状況について155-168.
 - 15) 効果的な災害復旧と被災者支援を目指した情報支援の事例報告 平成30年7月豪雨災害における災害ボランティアセンターおよび社会福祉協議会に対する支援事例 169-174.
 - 16) 災害対応の初期フェイズにおける無人航空機の活用 平成30年7月豪雨における広島県での捜索支援地図の作成事例 175-189.
- 第54号 平成30年大阪府北部の地震調査報告(令和2年3月発行)
 - 1) 2018年6月18日大阪府北部の地震 1-6.
 - 2) 大阪府北部を震源とする地震における情報支援活動 災害時情報集約支援チーム (ISUT) として初の派遣事例 7-15
 - 3) 大阪府北部を震源とする地震対応における情報支援のマネジメント体制-防災科学技術研究所総合防災情報センターの体制- 17-22.
 - 4) 平成30年(2018年)大阪府北部を震源とする地震における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と 運用 23-30.
 - 5) 平成30年6月大阪府北部地震における社会福祉協議会の情報プラットフォーム活用状況調査 災害情報 を利活用した効果的な被災者支援の実現に向けて 31-36.
- 第55号 平成30年北海道胆振東部地震調査報告(令和2年3月発行)
 - 1) 防災科学技術研究所陸海統合地震津波火山観測網 (MOWLAS) が捉えた平成 30 年北海道胆振東部地震 観測記録・解析結果・臨時観測 1-15.
 - 2) 平成30年北海道胆振東部地震における情報支援活動17-46.
 - 3) 平成30年北海道胆振東部地震における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用 47-58.
- 表紙図・・・ 左上:福島県沖の地震松川浦の法面崩壊地点,右上:福島県沖の地震新地町住宅被害,右下:福島県沖の地震 KiK-net 山元 (MYGH10) の福島県沖の地震の加速度波形,
 - 中央:福島県沖の地震松川浦の法面崩壊面の電子顕微鏡写真。下図:松川浦大橋周辺の鳥瞰図

4) 平成30年9月北海道胆振東部地震における被災状況と情報支援活動の現地調査,および調査写真のWeb-GIS 登録手法の検討59-66.

- 第56号 令和元年8月の前線に伴う大雨調査報告(令和4年1月発行)
 - 1) 令和元年8月の前線に伴う大雨における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用1-10.
 - 2) 2019年8月28日に佐賀県に大雨をもたらした線状降水帯の予測可能性に関する研究 11-23.
 - 3) 令和元年8月の前線に伴う大雨におけるリモートセンシングデータとそれに関連した情報プロダクツの共 有状況 25-36.
 - 4) 令和元年8月の前線に伴う大雨災害に対する佐賀県の過去の災害情報の調査と収集 37-60.
 - 5) 令和元年8月の前線に伴う大雨における N2EM の災害対応活動 61-66.
- 第57号 令和元年房総半島台風(台風第15号)調査報告(令和4年1月発行)
 - 1) 令和元年房総半島台風(台風第15号)における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用1-13.
 - 2) 令和元年房総半島台風(台風第15号)における ISUT による情報支援活動 15-24.
 - 3) 台風第15号による園芸施設への被害状況に基づく風の解析値の検証25-40.
 - 4) 令和元年台風第15号(房総半島台風)におけるリモートセンシングデータとそれに関連した情報プロダクッの共有状況41-53.
 - 5) 令和元年房総半島台風(台風第15号)における電力施設被害と長期停電の分析55-64.
 - 6) 令和元年房総半島台風における倒木等被害の組織横断型地理空間情報共有 65-72
 - 7) 令和元年房総半島台風における N²EM の災害対応活動 73-78
- 第58号 令和元年東日本台風(台風第19号)調査報告(令和4年1月発行)
 - 1) 令和元年東日本台風(台風第19号)における防災科研クライシスレスポンスサイトの構築と運用1-12.
 - 2) 令和元年東日本台風(台風第19号)における ISUT による情報支援活動 13-20.
 - 3) 令和元年(2019年)東日本台風による宮城県丸森町周辺と岩手県三陸海岸沿いの斜面変動の分布 21-34.
 - 4) 令和元年 (2019年) 東日本台風による斜面崩壊地の岩石・土層物性:特に宮城県丸森町周辺のいくつかの 事例について 35-52.
 - 5) 令和元年東日本台風における水戸市および常陸太田市の浸水推定と調査報告 23-58.
 - 6) 令和元年台風第19号(東日本台風)におけるリモートセンシングデータとそれに関連した情報プロダクツの一元化および共有状況59-76
 - 7) 災害時の地方公共団体における入浴支援に関する調査 令和元年東日本台風(台風第 19 号)における長野市の支援事例 77-84
 - 8) 令和元年東日本台風における N²EM の災害対応活動 85-90

- 編集委員	員会 −	主要災害調査 第 59 号	
(委員長)	下川信也	令和 4 年 1 月 28 日 発行	
(委 員) 木村 武志 河合 伸一 山崎 文雄 藤原 淳	姫松 裕志 三浦 伸也 平島 寛行 川嶋 一浩	編集兼 国立研究開発法人 発行者 防 災 科 学 技 術 研 究 所 〒 305-0006 茨城県つくば市天王台 3 - 1 電話 (029)863-7635	
(事務局) 三浦 伸也 池田 千春 (編集・校正)	前田佐知子 樋山 信子	https://www.bosai.go.jp/ 印刷所 前 田 印 刷 株 式 会 社 茨城県つくば市山中152-4	

© National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience 2022

※防災科学技術研究所の刊行物については、ホームページ(https://dil-opac.bosai.go.jp/publication/)をご覧下さい.

CONTENTS

主要災害調査 59 号

2021年2月福島県沖および3月宮城県沖の地震被害調査報告

Natural Disaster Research Report: No. 59 Research Report on Damage Investigations Related to the 2021 February Fukushima Offshore Earthquake and the 2021 March Miyagi Offshore Earthquake

● 2021 年 2 月福島県沖および 3 月宮城県沖の地震 強震動の特性 Strong Motion Characteristics Related to the 2021 February Fukushima Offshore Earthquake and the 2021 March Miyagi Offshore Earthquake 大角 恒雄・森川 信之・鈴木 比奈子・藤原 広行 Tsuneo OHSUMI, Nobuyuki MORIKAWA, Hinako SUZUKI, and Hiroyuki FUJIWARA ● 2021 年 2 月福島県沖の地震 被害調査報告 - 相馬市・新地町・山元町・亘理町・岩沼市 2021 年 2 月 16 日~ 17 日-Damage Assessment Report on the 2021 Fukushima Offshore Earthquake - Soma City, Shinchi Town, Yamamoto Town, Watari Town, Iwanuma City from February 16 to 17, 2021 -三浦 伸也・水井 良暢・鈴木 比奈子 Shinya MIURA, Yoshinobu MIZUI, and Hinako SUZUKI ● 2021 年に発生した地震による災害調査報告(2021 年 3 月 20 日~ 23 日): 松川浦,新地町(2月福島県沖の地震)および相馬市・新地町・山元町・塩竈市(3月宮城県沖の地震) A Study of Slope Damage in Matsukawaura, Shinchi Town, Shiogama City Related to the 2021 Fukushima Offshore Earthquake and the 2021 March Miyagi Offshore Earthquake 大角 恒雄・水井 良暢・池田 真幸・松原 仁 Tsuneo OHSUMI, Yoshinobu MIZUI, Masaki IKEDA, and Hitoshi MATSUBARA